

あかびらの 今と昔

今と昔のあかびらでは、どのように変化をしているのでしょうか。ここでは、昔の懐かしいイベントや風景、建物などを紹介していきます。

市の鳥



AKABIRA ベースの外観

突然、クイズです。「市の花は菊市の木はカエデ。では、市の鳥は何でしょう。」
クマゲラ？
赤平市内でロケを行ったドラマでは、クマゲラが印象的に登場しました。アイヌの人々の間でクマゲラは「道に迷ったときの道案内の神」といわれているそう、将来の道に迷った主人公が文字どおり迷い込んだまちとして赤平が描かれました。観光案内や特産品販売をしているAKABIRA(アカビラ)ベースもクマゲラがモチーフで、赤平市の「道案内」をするのにふさわしい外観となっています。……と、ここまで書いておきながら、市の鳥はクマゲラではありません。不正解。

正解は「ヤマガラ」。市民憲章制定20周年をきっかけに平成6年から準備が進められ、平成8年2月に制定されました。選定にあたって行われた600人の市民アンケートで多くあげられたのがヤマガラでした。
一年中同じ地域で生活する留鳥であること(今では「定住」の象徴といえるでしょうか)。市内の公園や山地、市街で見られること。愛らしい容姿と清らかなさえずりが、市民の心の美しさを象徴していること。そして、炭鉱(ヤマ)で栄えたまちとして語感がふさわしいことなどが、理由として挙げられています。
自然豊かな赤平。公園などで意識して木を見上げてみると、いろいろな鳥たちと出会えるかもしれません。



地域おこし協力隊通信

早いもので、地域おこし協力隊としての活動も2年が経とうとしています。農家の皆さんをはじめ多くの方にお世話になりながら、赤平のことや農業のことを教わる日々を過ごしています。任期は残り1年少々。これまで私が感じてきた赤平や農業の魅力を少しでも多くの方に伝えられるよう、現在PR動画を作成中です。この動画の撮影には地元の農家の皆さんにもご協力いただきました。

ほかにも地元の農産物や加工品の魅力を発信するための準備を進めています。

新しい元号の発表と今年の野菜の収穫を楽しみに待つ、平成元年生まれの高橋でした。

地元農産物を活かした
特産品推進部門 高橋



ただいま 農業PR動画
編集中です！